

ワクチン	ワクチンで防げる 病気	症状
BCGワクチン	結核	咳や発熱が続き、体重減少、発達の遅れなどで見つかることもある。赤ちゃんの場合は、粟粒結核や髄膜炎など重症になりやすい。後遺症が残ったり、死亡することもあります。
三種混合 (DPT) ワクチン	ジフテリア・ 百日せき・破傷風	【ジフテリア】のどに炎症を起こす病気で38度以上の熱と犬の遠吠えのような咳が特徴、重症になると呼吸困難や神経麻痺、心筋炎をおこすことがあります。 【百日せき】連続した咳が続き、急に息を吸い込むので笛のような音をとまなう呼吸困難、チアノーゼ、けいれん等が起こる。乳児では無呼吸状態になることがある。肺炎、脳症を併発することもある。 【破傷風】土の中にいる菌が傷口から体に入り菌の毒素でけいれんをおこす。顔の筋肉が硬直して引きつり、口が開きにくくなるのが特徴です。重症になると強いけいれんで呼吸ができなくなることがあります。
BCGワクチン	結核	咳や発熱が続き、体重減少、発達の遅れなどで見つかることもあります。赤ちゃんの場合は、粟粒結核や髄膜炎など重症になりやすい。後遺症が残ったり、死亡することもあります。
ポリオワクチン	ポリオ (小児まひ)	小児まひと言われ、無症状か風邪に似た症状がでるくらいですが熱が下がった後、片側の手足に弛緩性麻痺をおこし後遺症を残すことがあります。潜伏期間は4～35日と言われ、平均すると15日です。
麻疹・風疹混合 (MR) ワクチン	麻疹 (はしか) 風疹 (ふうしん)	【はしか】熱、鼻水、せきなどの症状ではじまり、熱はいったん下がった後、再び上がります。赤い発疹が顔から全身へ広がります。潜伏期間は約10日です。
日本脳炎ワクチン	日本脳炎	【風しん】発熱、発疹、首のリンパ節のはれの3症状が特徴で、ふつうは3日ぐらいで治ります。重症になると脳炎や血小板減少性紫斑病になることもあります。潜伏期間は2～3週間です。
ヒブワクチン	ヒブ感染症 (細菌性 髄膜炎など)	感染したブタから蚊がウイルスを運び人を刺し感染させ脳炎をおこす病気で、かかっても多くは無症状ですが脳炎になると高熱、意識障害、けいれんをおこすことがあります。
小児用肺炎球菌 ワクチン	肺炎球菌感染症 (細菌性 髄膜炎など)	細菌性髄膜炎や喉頭蓋炎、肺炎などおこし、5歳までにかかるとの多い病気です。髄膜炎は早期診断が難しく重症化しやすく死亡・重い後遺症が残ることがあります。
ロタウイルスワクチン	ロタウイルス	菌血症、肺炎、脳を包む髄膜炎をおこし細菌性髄膜炎などをおこします。髄膜炎は早期診断が難しく重症化しやすく死亡・重い後遺症が残ることがあります。
B型肝炎ワクチン	B型肝炎	乳幼児がかかりやすい病気で嘔吐、下痢を繰り返すと脱水症状になります。けいれんや脳症を合併することもあります。潜伏期間は48時間 (最長72時間) 感染力が強いのが特徴です。
おたふくかぜワクチン	おたふくかぜ (流行 性耳下腺炎)	B型肝炎ウイルスに感染した母親から分娩時に感染するだけでなく、感染している周囲からも感染します。黄疸、発熱、倦怠感、発熱などの症状があり、子どもの場合は原因不明の場合もあります。肝炎になり、慢性化すると肝硬変や肝臓がんの原因になります。
みずぼうそうワクチン	みずぼうそう (水痘)	発熱とともに唾液腺 (耳の下あたり) 特に耳下腺が腫れる病気です。潜伏期間は2～3週間あり、発病し1～2週間で治りますが無菌性髄膜炎や脳症を合併したり難聴になることもあります。
インフルエンザ ワクチン	インフルエンザ	強いかゆみのある水泡のある発疹が全身にできる病気です。発疹は水ぶくれ、かさぶたへ変化します。脳炎や肺炎、皮膚の最近感染症などを合併することがあります。潜伏期間は10～21日です。
		悪寒や発熱、頭痛、関節痛などの全身症状がみられる病気です。中耳炎、肺炎を合併することもあります。脳症を起こすと後遺症を残したり、死亡することもあります。潜伏期間は1～2日です。

4種混合は、ジフテリア・百日咳・破傷風とポリオのワクチンになります。